

発議第4号

令和3年12月10日

下野市議会議長 小谷野 晴夫 様

提出者	下野市議会議員	松本	賢一
賛成者	同	岡本	鉄男
同	同	村尾	光子

「下野市における人口増を目指す施策に関する決議」の提出について

上記の議案を、別紙のとおり下野市議会会議規則第14条の規定により提出する。

## 下野市における人口増を目指す施策への要望事項(案)

人口減少下にある本県において、本市は令和2年国勢調査の人口が、過去最高の人口を記録しました。

国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計では、令和2年は平成27年から大きく減少すると推計されましたが、栃木県にご支援いただき事業を進めている、仁良川土地区画整理地内への子育て世代の移住などによる結果であると捉えております。

これは、本市が危機感を持ち、魅力的で安定した雇用を創出すること、東京圏からの新しいひとの流れをつくること、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること、安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくることを目標として、様々な施策を展開してきたことの結果であると考えております。

また、この間、県には様々な場面でご協力いただいたことに深く感謝申し上げます。

今後も本市は人口減少を食い止め、人口増を目指す方向で取り組んでいくことが必要であると考えております。

そのため、JR宇都宮線及び国道4号が縦断するとともに（仮称）下野スマートICが整備されるなど、東京圏へのアクセスが比較的良好なエリアであること、市街地が高台にあり災害に強いこと、医療環境が充実していることなどの強みを活かした施策をさらに展開していくことが必要であると考えており、これらの取り組みが、ひいては本県のさらなる発展に大きく寄与するものと確信しております。

つきましては、以下のとおり要望いたします。

- 1 下野市の実施している人口増を目指す施策が円滑に進みますよう特段のご配慮をお願いいたします。

令和3年12月 日

下野市議会

議長 小谷野 晴夫

栃木県知事 福田 富一 殿

栃木県議会議長 阿部 寿一 殿